鯖江市総合戦略 体系図

<p>基本目標 青字:目標達成に向かって 黄字:改善しているがぶび度が遅い 赤字:後退している</p>	基本施策	KPI(主な重要業績評価指数)	単位	現行戦略の現状値	現行戦略の目標値	実績値 青字:目標達成見込み 黄字:改善しているが遅い 赤字:後退している	新たな目標値(R6年度)	実施施策	主要な事業
<p>若者が住みたくなるまちの創造</p>	<p>若者の夢を応援するまち ～よそ者に寛大で多様性があるまち～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学生連携によるまちづくり提案数 ・(大学生・高校生)提案に対する具現化件数 ・鯖江市役所JK課参加者数 ・クラウドファンディングを活用した若者活動支援数 ・移住相談件数 ・市ホームページ定住・交流情報サイトアクセス数 	<p>件 人(累計) 件(累計) 件(累計) 件(累計)</p>	<p>12(H26年度) 68(H29年度) 1(H26年度) 43(H29年度) 360(H29年度)</p>	<p>12(R1年度) 78(R1年度) 15(R1年度) 50(R1年度) 400(R1年度)</p>	<p>14(H30年度) 2(H30年度) 79(H30年度) 12(H30年度) 71(H30年度) 630(H30年度)</p>	<p>4(R6年度) 100(R6年度) 80(R6年度) 700(R6年度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学生連携事業 ・(女子)高校生のまちづくり参加の促進 ・クラウドファンディングの推進 ・ふるさと納税の推進 ・UIターン者定住促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生連携事業(地域活性化プランコンテスト、明治大学鯖江ブランド創造プロジェクトほか) ・鯖江市役所JK課事業 ・FAAVOさばえ事業 ・ふるさと納税事業 ・鯖江の魅力UIターン情報発信事業(シティプロモーション推進事業) ・お試し移住事業 ・UIターン移住就職等支援事業 ・シェアハウス、シェア工房事業 ・空き家有効活用推進事業 ・(再掲)空き家再生等推進事業 ・(再掲)UIターン者創業支援事業 ・子育て世帯・移住者住まい支援事業
<p>【成果指標】・・・H31年度に ・若者の社会減の抑制 30人/年 -52人(H30年度) ・若者が活躍でき、定住しやすいと感じている人の割合 70%(H24 63.7%) 69.1%(H30年度)</p>	<p>さばえファン(関係人口)の獲得</p>	<p>・関係人口</p>	<p>人(累計)</p>			<p>6,200(R1年度)</p>	<p>9,700(R6年度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関係人口創出事業 ・(再掲)学生連携事業 ・(再掲)ふるさと納税の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・鯖江“育職住”プロジェクト ・(再掲)鯖江の魅力発信事業(シティプロモーション推進事業) ・(再掲)学生連携事業(地域活性化プランコンテスト、明治大学鯖江ブランド創造プロジェクトほか) ・(再掲)ふるさと納税事業
<p>オープンデータとITで都会的サービスが享受できるまち</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・公共サービスアプリ利用者数 ・タブレットアプリ年間講座受講者数 	<p>人 人</p>	<p>600(H26年度) 400(H26年度)</p>	<p>1,800(R1年度) 500(R1年度)</p>	<p>2,390(H30年度) 273(H30年度)</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・証明書等取得の利便性向上 ・データ公開、アプリ活用の推進 ・入札参加者の利便性向上 ・税金等の納付における利便性の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・証明書等のコンビニ交付事業 ・ガバメント2.0さばれぼ事業 ・電腦メガネ観光サポート事業 ・ITに親しむ講座事業 ・IT推進フォーラム開催事業 ・電子入札運用事業 ・クレジットカード納付事業
<p>河和田キャンパス(創造産地)の構築</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・新規若者移住・就業者数 ・河和田での新規起業数 	<p>人(累計) 件(累計)</p>	<p>25(H21～26年度) 3(H25～26年度)</p>	<p>45(H21～R1年度) 13(H25～R1年度)</p>	<p>59(H21～30年度) 10(H25～30年度)</p>	<p>85(R6年度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・河和田地区への移住・定住促進 ・交流人口増加への取組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・河和田アートキャンプ事業 ・(再掲)伝統産業とITを生かした地方創生事業 ・(再掲)鯖江の魅力発信事業(シティプロモーション推進事業) ・(再掲)シェアハウス、シェア工房事業 ・(再掲)空き家有効活用推進事業 ・(再掲)空き家再生等推進事業 ・河和田くらしの祭典事業 ・工房ショップ等改修支援事業 ・伝統工芸産地体験事業 ・(再掲)育職住プロジェクト ・丹南地域周遊・滞在型観光推進事業
<p>ものづくり教育とふるさと学習の推進</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・将来、市内の地場産業に関する事業所で働きたい生徒数の割合 ・将来、市内の企業で働きたい生徒数の割合 ・ふるさとさばえキッズ検定の参加者数 ・行政出前講座(歴史・文化)の参加者数 	<p>% % 人</p>	<p>4.5(H24年度) 17.2(H29年度) 31(H27年度)</p>	<p>10(R1年度) 20(R1年度) 100(R1年度)</p>	<p>4.2(H30年度) 13.1(H30年度) 26.8(H30年度) 1,000(H30年度)</p>	<p>20(R6年度) 1,300(R6年度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・IT教育の推進 ・ものづくりを核としたふるさと教育の推進 ・ふるさとの歴史・文化再発見 ・市民との協働事業の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども向けプログラミングクラブ事業 ・教室用IT機器整備事業 ・ふるさと教育推進事業(シティプロモーション推進事業) ・ものづくり教育推進事業(シティプロモーション推進事業) ・産業を体験し理解を深める学習事業(シティプロモーション推進事業) ・小中学生ふるさと歴史文化学習事業(シティプロモーション推進事業) ・まちかど歴史浪漫コンサート事業 ・えきライブラリー支援事業 ・さばえライブラリーカフェ事業

鯖江市総合戦略 体系図

基本目標 青字:目標達成に向かっている 黄字:改善しているがぶび度が遅い 赤字:後退している	基本施策	KPI(主な重要業績評価指数)	単位	現行戦略の現状値	現行戦略の目標値	実績値 青字:目標達成見込み 黄字:改善しているが遅い 赤字:後退している	新たな目標値(R6年度)	実施施策	主要な事業
	参加と協働による市民主役	<ul style="list-style-type: none"> まちづくりの提案をする団体数 参加と協働によるまちづくりが推進されていると感じている人の割合 10地区の主なまちづくりイベントの参加数 鯖江市役所JK課参加者数 	団体 % 人 人(累計)	33 (H26年度) 86.2 (H24年度) 70, 131 (H30年度) 68 (H29年度)	43 (R1年度) 88 (R1年度) 78 (R1年度)	51 (H30年度) 81.0 (H30年度) 79 (H30年度)	51 (R6年度) 100, 000 (R6年度)	・市民主役事業の推進 ・(女子)高校生のまちづくり参加の促進	<ul style="list-style-type: none"> 提案型市民主役事業 まちづくり基金事業 融和と協働のまちづくり事業 市民まちづくり応援団事業 鯖江市役所JK課事業 シェアリングエコノミー推進事業
	地域資源を活かす観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> 年間観光客入込数 産業観光施設年間来館者数(めがねミュージアム、うるしの里会館、石田綺手織りセンター) 地域資源を活かす観光が推進されていると感じている人の割合 	万人 万人 %	166 (H26年度) 16 (H26年度) 68.1 (H24年度)	170 (R1年度) 17 (R1年度) 70 (R1年度)	188 (H30年度) 29 (H30年度) 82.6 (H24年度)	190 (R6年度) 30 (R6年度)	・産業観光の充実 ・広域観光の推進 ・街なか観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> 産業観光推進事業 漆文化のユネスコ無形文化遺産登録支援事業 国体を通じた鯖江の魅力発信事業(シティプロモーション推進事業) (再掲)工房ショップ等改修支援事業 (再掲)伝統産業とITを生かした地方創生事業 グリーンツーリズム推進事業 広域観光推進事業 丹南5産地伝統工芸品集積群の日本遺産登録支援事業 越前ものづくりの里プロジェクトでの広域産業観光推進事業 (再掲)丹南地域周遊・滞在型観光推進事業 (再掲)伝統的工芸品月間国民会議全国大会開催事業 シェアリングエコノミー推進事業 街なか観光推進事業 西山公園施設改修事業 西山公園イルミネーション事業 西山動物園(レッサーパンダの聖地化)事業

基本目標 青字:目標達成に向かっている 黄字:改善しているがぶび度が遅い 赤字:後退している	基本施策	KPI(主な重要業績評価指数)	単位	現行戦略の現状値	現行戦略の目標値	実績値 青字:目標達成見込み 黄字:改善しているが遅い 赤字:後退している	新たな目標値(R6年度)	実施施策	主要な事業
安心して快適に暮らせるまちの創造 【成果指標】・・・H31年度に ・快適に暮らせると感じる人の割合 83.0% (H31年度) 83.2% (H30年度)	Society 5.0の実現	<ul style="list-style-type: none"> 公共サービスアプリ利用者数 タブレットアプリ年間講座受講者数 リテラシー向上にかかる講座等の受講者数 マイナンバーを活用したサービス件数 	人 人 人 件	600 (H26年度) 400 (H26年度)	1, 800 (R1年度) 500 (R1年度)	2, 390 (H30年度) 273 (H30年度) 3 (H30年度)	4, 000 (R6年度) 500 (R6年度) 10 (R6年度)	・証明書等取得の利便性向上 ・データ公開、アプリ活用の推進 ・入札参加者の利便性向上 ・税金等の納付における利便性の向上 ・デジタルガバメントの実現 ・データの利活用	<ul style="list-style-type: none"> さばe市マイポータル構築事業 AIチャットボット導入事業 オンライン申請推進事業 マイキープラットフォーム推進事業 キャッシュレス化推進事業 証明書等のコンビニ交付事業 ガバメント2.0さばれぼ事業 電脳メガネ観光サポート事業 ITに親しむ講座事業 IT推進フォーラム開催事業 電子入札運用事業 クレジットカード納付事業 マイキーID設定支援事業

鯖江市総合戦略 体系図

<p>基本目標 青字:目標達成に向かっている 黄字:改善しているがぶび度が遅い 赤字:後退している</p>	基本施策	策定方針(強化すべき内容)	推進委員の意見	男女共同参画NWの意見	市民協働推進会議	商工会議所青年部	鯖江地区商店街連合会役員会
<p>若者が住みたくなるまちの創造</p> <p>【成果指標】・・・H31年度に ・若者の社会減の抑制 30人/年 -52人(H30年度) ・若者が活躍でき、定住しやすいと感じている人の割合 70%(H24 63.7%) 69.1%(H30年度)</p>	<p>若者の夢を応援するまち ~よそ者に寛大で多様性があるまち~</p>	<p>・若者の活躍の場づくりの強化 ・若者の定住の促進の強化</p>			<p>・若者がわくわくしているかが大事。 ・アートキャンプでは色々なチャレンジができていて、地元の人と学生との関係が上下ではなくフラットになっていることが良い。こういうことを許容できるまちはワクワク感があるまち。</p>	<p>・住む際、隣近辺の人たちとどのような関係になるのか、途中からコミュニティに参加することへの難しさや不安を抱いている。 ・さばえネガティブキャンペーンとして、移住者が鯖江に住む際に不安に思うことを積極的にさらけ出すと良い。</p>	
	<p>さばえファン(関係人口)の獲得</p>	<p>・【国の新たな視点】関係人口の創出・拡大</p>					
	<p>オープンデータとITで都会的サービスが享受できるまち</p>						
	<p>河和田キャンパス(創造産地)の構築</p>				<p>・若者がわくわくしているかが大事。 ・アートキャンプでは色々なチャレンジができていて、地元の人と学生との関係が上下ではなくフラットになっていることが良い。こういうことを許容できるまちはワクワク感があるまち。 ・高専から地元就職させるとか現実的なことをしないとイケない。</p>	<p>・住む際、隣近辺の人たちとどのような関係になるのか、途中からコミュニティに参加することへの難しさや不安を抱いている。 ・さばえネガティブキャンペーンとして、移住者が鯖江に住む際に不安に思うことを積極的にさらけ出すと良い。</p>	
	<p>ものづくり教育とふるさと学習の推進</p>	<p>・【国の新たな視点】地方創生の基盤をなす人材の掘り起こし、育成、活動支援</p>	<p>・就職の近い高校生への地元企業のPR ・福井にUターンすると何が幸せなのかを伝えきれていない ・ふるさとが好き、帰ってきたいという子どもは増えている。</p>		<p>・若者のUターン率の高いまちがあるが、行政が中学生の時から地域の良さを教えており、Uターン時に地元の就職先も友人経由等で紹介しているとのこと。 ・高専から地元就職させるとか現実的なことをしないとイケない。</p>		

鯖江市総合戦略 体系図

基本目標 青字: 目標達成に向かっている 黄字: 改善しているがぶび度が遅い 赤字: 後退している	基本施策	策定方針(強化すべき内容)	推進委員の意見	男女共同参画NWの意見	市民協働推進会議	商工会議所青年部	鯖江地区商店街連合会役員会
	参加と協働による市民主役	・【国の新たな視点】民間(NPO等、企業)との協働	・まちづくり団体は後継者不足。若者の参加が困難。女性は家事や仕事に追われている。いかに楽しく活動するかが重要。 ・区長のなり手が不足している。仕事が多いが、市から個人情報をもらえず困っている		・ボランティアだけでは続かない。生活していかないといけない。収入がないと発展していかない。 ・ボランティア活動では発信力が弱く限界があるので、行政と民間でビジネスモデルを作る ・河和田は盛り上がりが見えるが、熱心な人とそうでない人の地域内での温度差が大きい。これでは市や県全体に広がっていかない。 ・人口減で税収が減っていてもどう都市経営していくか。やはり、参加と協働である。市民が行政とともに持続可能なまちづくりを目指していくことを描くとよい。	【シェアリングエコノミーの活用】 ・重機、工場、道具のシェア ・鯖江市の案内、職場体験の提供 ・市民の不信感を払しょくして、提供者や利用者の増加を図る上で、YEGの信頼は有効 ・スキルを持つ人のPRの発信方法 ・県外にシェアエコを発信する上で、鯖江には売りになるものが少ない。売りを作ることを頑張らないといけない	
	地域資源を活かす観光の推進					・西山公園というすばらしい資産をしっかりと活用すべき。噴水をスタバにする、夏フェスをする。 ・眼鏡ストリートに、眼鏡を買ったり、体験できるショップがあるといい。滞在型で楽しめる場所があるといい。 【シェアリングエコノミーの活用】 ・鯖江市の案内、職場体験の提供	・王山古墳などの観光に来る人が結構いるが、どこにあるのかわかりにくいし、そもそも見せられるような状況にない。植田家長屋門なども含めて史跡を綺麗に整備するべき。 ・駅から舟津神社、車の道場、王山古墳、万慶寺、商店街までのモデルルートができると良い。 ・西山でのレキシコンサートは商店街では評判が良い。宿泊も含めてお金が落ちたということで、またやれば良いのにとの声がある。

基本目標 青字: 目標達成に向かっている 黄字: 改善しているがぶび度が遅い 赤字: 後退している	基本施策	策定方針(強化すべき内容)	推進委員の意見	男女共同参画NWの意見	市民協働推進会議	商工会議所青年部	鯖江地区商店街連合会役員会
安心して快適に暮らせるまちの創造 【成果指標】・・・H31年度に ・快適に暮らせると感じる人の割合 83.0% (H31年度) 83.2% (H30年度)	Society 5.0の実現	・【国の新たな視点】Society5.0の実現に向けた技術の活用					

鯖江市総合戦略 体系図

	策定方針(強化すべき内容)	推進委員の意見	男女共同参画NWの意見	市民協働推進会議	商工会議所青年部	鯖江地区商店街連合会役員会
その他全体に関わる内容	<ul style="list-style-type: none"> 女性のエンパワーメントを地域のエンパワーメントに 【国の新たな視点】SDGsを原動力とした地方創生 【国の新たな視点】女性、高齢者、障がい者など誰もが活躍できる社会 【国の新たな視点】Society5.0の実現に向けた技術の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 多様性を認める。人権を尊重する 弱者(障がい者、外国人)も住みやすい移動手段や教育を担保 未婚の中年男性、外国人の女性が抵抗なく地域行事に参加できる環境 魅力あるまちであるためには、鯖江のようにデメリットを恐れず尖った事業を開拓することが必要 女性の活躍、後継者問題、若者の東京集中に対して、多様性を認め、寛容になりつつ鯖江らしさを作っていく 	<ul style="list-style-type: none"> 市の施策についてPRが足りず、市民の理解が不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> 福井と武生をつなぐハブ的な自治体になれば福井県全体が盛り上がるし、嶺北視点で動けばもっといろんなことができると思う。 フォアキャストでなくバックキャストで作成した計画をいかに作るか。 あまり高い目標を置くのではなく、人口が減ることを受け止めた上で、それでも住みやすい鯖江をいかに目指していくかの方が良い。 計画を立てても実行する人がいないと意味がない。 		<ul style="list-style-type: none"> 地元の人が喜ぶ、便利な、幸せなまちであることが一番である。